

みやざき No.270

〒880-0303
宮崎市佐土原町東上那珂16500-2
TEL : 0985-74-3850
FAX : 0985-74-3950
http://www.i-port.or.jp

令和4年度1号
令和4年10月1日発行

機構トピックス

宮崎ひでじビール株式会社の宮崎県産「栗」を使用した「栗黒」が世界最高峰ビールコンペティション「WORLD BEER CUP」最高賞を受賞!!

宮崎ひでじビール株式会社（延岡市）の宮崎県産「栗」を使用したビール「栗黒」が、世界最高峰ビールコンペティション「WORLD BEER CUP (WBC) 2022」で最高賞(金賞)を受賞しました！

2022年は過去最大の57カ国、2,493のブルワリーから10,542品のエントリーがあり、スペシャルティビールカテゴリーの中から「栗黒」が最高賞(金賞)を受賞しました。



▲宮崎県産「栗」を使用したビール「栗黒」

「栗黒」概要

「栗黒」は宮崎県産の「栗」を副原料に用いた「スタウト」と呼ばれるビアスタイルの濃厚な黒ビールで、ラベルは延岡の文化財である「内藤家旧蔵の能面」をモチーフにした和風のデザインを採用しています。

9%というビールとしては高いアルコール度数となっており、数か月～数年に及ぶ長期間の瓶内熟成が可能で、熟成を進める事で、香り・旨み・アルコール分等がビール全体に良くなじみ、舌触りが良くなるとともに熟成香が増し、更に重厚でまろやかな味わいへと変化していくビールです。

※当機構では、宮崎ひでじビール株式会社が宮崎県の「地域中核的企業」の認定を受けて、現在、南国では栽培不可能と言われたビール原料の「ホップ」の栽培技術確立と、オール宮崎県産ビールの開発に向けて産学官金によるチーム支援を行っています。



▲宮崎県産「ホップ」

「WORLD BEER CUP」概要

WORLD BEER CUP (WBC)は、1996年よりアメリカで2年に1回開催されており、世界各国から最も多く出品される世界最大規模の国際ビールコンペティションです。



▲WBC受賞結果の河野知事報告（令和4年5月30日）

（右から2番目が宮崎ひでじビール 代表取締役社長の永野時彦氏）

当社は創業当初より大麦やホップ、日向夏など地域特産物を使用したクラフトビールを製造・販売してきました。県産和栗を使用した「栗黒」のWBC金賞受賞を契機に、より多くのお客様に認知して頂く事で、県内農業の活性化につなげる事が出来れば嬉しいです。（代表取締役 永野時彦）

新たな取組に挑戦し10年後の宮崎県をリードする 宮崎県次世代リーディング企業を認定!!



▲宮崎県次世代リーディング企業認定証交付式（令和4年8月24日）於：宮崎県庁本館講堂

左から(株)くしまアオイファーム 代表取締役会長 池田 誠氏 (株)ワン・ステップ 関東支店長 井上 一希氏
 (株)ハニー 代表取締役 三棹 健只氏 県知事 河野 俊嗣氏
 (有)産機サービス 代表取締役 河野 弘行氏 (株)グローバル・クリーン 代表取締役 税田 和久氏
 ミツワハガネ(株) 代表取締役社長 吉ノ菌 順也氏

宮崎県では、人口減少や高齢化の進行、感染症や自然災害など、社会的・経済的に今後生じる外的な影響に対応するため、積極的に新たな取組にチャレンジし、時代の流れを敏感に読み取りながら、柔軟かつ強靱に立ち向かい、着実な成長を継続していくとともに、その事業活動によるビジネスモデルが他の県内企業の模範になるなど、中長期的（次世代）に地域の経済をリードする役割を担うことが見込まれ、その高い意欲を持つ企業を「宮崎県次世代リーディング企業」として認定します。

今回、(株)くしまアオイファーム、(株)グローバル・クリーン、(有)産機サービス、(株)ハニー、ミツワハガネ(株)、(株)ワン・ステップの6社が次世代リーディング企業として認定され、令和4年8月24日に県庁講堂にて、県知事から認定証の交付がありました。

認定証の交付を受けた(株)ハニーの三棹社長は、「県内の中小企業は、物価高騰や新型コロナウイルス等の影響により経済困難に直面している。宮崎県次世代リーディング企業に選ばれたことは、自社を見直すきっかけになり、背中を押してもらった。次世代を担える企業になれるような事業を行っていききたい。また、先頭をきって宮崎県の経済や雇用等で旗印になれるよう努力したい。」と話しました。

今後認定を受けた企業に対しては、機構が持つ支援施策を重点的・集中的に活用し、事業計画の達成に向けて支援していきます。

宮崎県次世代リーディング企業一覧 (五十音順)

| 企業名 | 業種 | 所在地 |
|---------------|--------------------------|-----|
| (株)くしまアオイファーム | 農業 | 串間市 |
| (株)グローバル・クリーン | その他の事業サービス業 (清掃サービス業) | 日向市 |
| (有)産機サービス | 設備工事業 | 宮崎市 |
| (株)ハニー | 飲料・たばこ・飼料製造業 | 宮崎市 |
| ミツワハガネ(株) | 金属製品製造業 | 延岡市 |
| (株)ワン・ステップ | 物品賃貸業 | 宮崎市 |

JISQ9100を取得! お客様のベストパートナーを目指して

株式会社 **モリタ**

〒880-0301 宮崎県宮崎市佐土原町上田島2190-1
電話：0985-86-3968



目指すのは、
日本一の協力工場

モリタは、一貫体制と有利な立地条件を最大限に生かし、お客様のご要望に柔軟に対応。
納期及びコストへの反映と安定した品質を保証いたします。

令和元年に未来成長企業、令和2年に成長期待企業に認定されたモリタは、総合商社機能の“売り”と自動車や航空機の部品製造等の“造り”を併せ持つ複合企業です。金型製造、樹脂成形から組立検査、品質管理、物流や部品調達までの一貫体制を整えています。

同社では、航空機分野の受注が増加していることを受け、機構の支援として未来成長企業認定時から航空宇宙・防衛産業に特化した品質マネジメントシステム JISQ9100 の認証取得を目指し、JISQ9100取得のための専門家派遣を実施しました。また、成長期待企業のマネージャーによる管理者教育も合わせて実施し、組織体制の強化を図りながら、JISQ9100を取得することができました。

航空機分野でのビジネスチャンスを広げて、成長し続ける同社を支援していきます。



▲専門家派遣事業の様子



▲管理者教育の様子

JISQ9100認定取得にあたり、専門家派遣による指導や運用の助言等、何から何までお世話になりました。認定取得に恥じることのない運用と会社としてのレベルアップを今後も全社一丸となって取り組んでまいります。

(代表取締役社長 森田 尚孝)

お問い合わせ先

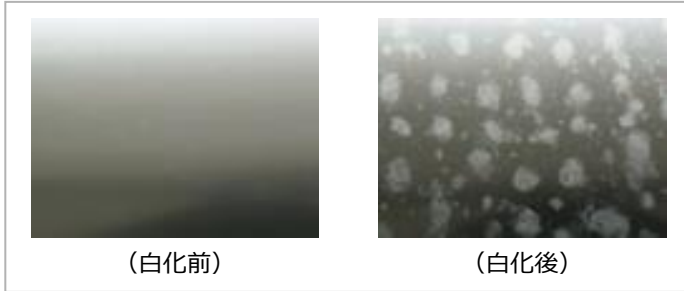
(公財) 宮崎県産業振興機構 企業成長促進室
電話：0985-77-5563

戦略的基盤技術高度化支援事業

「電解硫酸技術を活用した屋外で白化しにくいアルミ合金製品と表面処理装置の開発」

マイクロエース 株式会社

〒880-0036 宮崎市花ヶ島町京出1411番地1
電話：0985-25-4696



<写真1> 白化前後の製品



<写真2> 電解硫酸装置

令和元年度に戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）に採択され、研究開発に取り組んだマイクロエース株式会社について紹介します（事業期間：令和元～3年度）。戦略的基盤技術高度化支援事業（現在は成長型中小企業等研究開発支援事業）とは中小企業・小規模事業者が大学や公設試験研究機関、他の企業などと共同で我が国産業を支えるものづくり基盤技術の高度化に向けた研究開発や試作品開発などの取組を支援するもので3年間で最大9750万円の補助を受けることができます。マイクロエース株式会社は千葉工業大学、産業技術総合研究所九州センター、宮崎県工業技術センターの3機関との共同研究体制で実施し、産業振興機構は事業管理機関として参画しました。

従来品に使用されているアルミニウム合金は、表面に酸化皮膜（保護膜）が施されているにも関わらず1年程度の屋外使用で白化（白く変色）する現象が発生するため、改善が求められていました。そこで、一般的な硫酸浴の代わりに電解硫酸浴を用いた新たな陽極酸化処理及び従来とは異なる温度帯での封孔処理の2つを組み合わせた技術開発を行いました。最適な条件を組み合わせることで、従来品よりも緻密な酸化皮膜の形成に成功し、白化寿命を大幅に延長することができました。現在は、実用化に向けて生産ラインでの実証試験、製品の信頼性評価などを行っています。アルミニウム合金を使用している製品は非常に多岐にわたっており、今後、当技術の様々な製品への活用が期待されます。

[支援企業からのコメント]

白化メカニズムの解明からこの現象を改善し、耐食性の飛躍的向上を目指してきました。産学官連携の中でも特に宮崎県工業技術センターとの研究と、事業管理機関として産業振興機構の支援を受け、電解硫酸装置の開発等で多方面の分野への新たなビジネス展開が見え、当社の飛躍の柱になると期待しています。

代表取締役 柳 義一

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
新事業支援課
電話：0985-74-3850

マネージメント・ツールとして展示会を利用する!

三和ニューテック(株)

〒889-1603 宮崎市清武町正手1丁目11番地
電話：0985-85-1234



▲ 会場の東京ビッグサイト



▲ 宮崎県ブース



▲ 機械要素技術展

新型コロナウイルス感染症の感染拡大で営業活動の制限を受けた県内のものづくり企業を支援するため、当機構では今年度大都市圏で開催される展示会に宮崎県ブースを設置することとしています。

去る6月22日(水)から24日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催された機械要素技術展にブースを設置し、審査の結果、次の5社が出展しました。

- ①(株)中園工業所
- ②(株)システム技研
- ③マイクロエース(株)
- ④三和ニューテック(株)
- ⑤松山塗料商事(株)

このうち三和ニューテック(株)は、自社製品の電子マネーチャージ機や紙幣・硬貨入金機などを展示し、自社が得意とするODM(電子機器設計・製造受託)サービスなどの新規引合いを獲得するため、来場者への積極的な営業活動を展開していました。

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
産業振興課
電話：0985-74-3850



▲ 三和ニューテックの展示

3日間の展示期間中、58社と名刺交換できました。コロナ感染者数が下げ止まり傾向でありましたが、会場の活気は想像以上で、企業活動もウィズコロナに移り変わってきているという実感がわきました。今回の出展は、とても収穫のある活動でした。出展の機会をいただき、心よりお礼申し上げます。

営業部新規開拓チーム
アシスタントマネージャー 田中 和裕

新鮮野菜を使った料理を満喫してもらいたい!農家カフェの創業支援

農家カフェ しあわせ時間

〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島168-1
電話：090-3739-4583



▲カフェの外観

相談者のパートナーが長年かけて手作りしてきた庭をたくさんの人に見てもらいたい、自社農園で収穫した新鮮な野菜を使った料理を満喫してもらいたい、との思いで農家カフェの開業を決意され、相談にられました。開業にあたって、①開業資金の確保 ②収益を確保するための料理の価格設定といった課題を整理し、収支計画書を作成して必要な資金を算出すること、運転資金算出のための資金繰表の作成を提案しました。

①の課題については、開業に必要な設備を洗い出し、費用の見積もりを行ったことで、具体的な開業資金を算出することができました。また、②の課題については、事業継続のために必要な最低月収を積算し、必要な毎日の売上を把握することで、料理の単価を適正に設定することができました。

その結果、令和4年4月に開業することができ、現在も安定した営業を続けています。

(担当コーディネーター 糸山秀彦)



▲自家野菜をふんだんに使った限定メニュー

カフェの創業を決意したものの、飲食店の経営経験がなく不安でしたが、佐土原町商工会と連携して支援していただき、事業計画書などを作成することができました。

開業資金も銀行から融資を受ける事ができ、お店をオープンすることが出来ました。

今後は従業員の雇用も考えており、労務関係や帳簿整理についてもご指導をいただきたいと思っています。

(代表 図師利子)

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
経営情報課
電話：0985-74-3850

令和3年度フードビジネス商品開発・ブラッシュアップ支援 補助金による開発商品紹介

フードビジネス推進課では、本県の農林水産物を活用した商品の開発・改良にかかる費用を補助しています。また、補助事業の条件に、その年度のMIYAZAKI FOOD AWARDに開発・改良した商品を出品することとしています。今回、補助を受けMIYAZAKI FOOD AWARD2022に出品、高評価を受け最終審査に残った2商品を紹介します。

釜からレンジへ「レンジでふくれるふくれ菓子」

株式会社 まるはちふくれ菓子店

〒885-0042 都城市上長飯町12-1
電話：0986-21-1415

弊社は都城にある創業32年ふくれ菓子の専門店です。

今回、補助事業を活用して、自宅で出来立てのふくれ菓子が味わえるレンジパック「レンジでふくれるふくれ菓子」を開発しました。

パックの中に入っている「ふくれ菓子ミックス粉」に牛乳を加えて混ぜ、そのままレンジで2分30秒チンすると、あつあつフワフワのふくれ菓子が簡単に出来上がります。

また、補助事業の条件であったMIYAZAKI FOOD AWARD 2022に出品したところ、宮崎唯一の有機抹茶「ひなた」を使用した抹茶味が、審査員賞を受賞しました。

これからも「ふくれ菓子」がおうち時間や家族団欒に一役買ってもらえれば幸いです。

(代表 木下真一)



新たな加工品製造なので、製造委託先の紹介や製造原価の考え方などを伴走しながら商品開発を行いました。また、中小機構の「ヒットをねらえ 地域のおすすめセレクション2022」という企画でも選出され、様々な企業との取引につながっているようです。

(担当コーディネーター 諏訪園哲哉)

令和3年度フードビジネス商品開発・ブラッシュアップ支援 補助金による開発商品紹介

宮崎県産果実を活用したクラフトコーラ

株式会社 **ヨシカワ**

〒880-0123 宮崎県宮崎市大字芳士898-2
電話：0985-82-9714

珈琲と宮崎県産の果実を使ったオリジナル商品をつくれなかと考えたのが始まりでした。様々な人との出会いの中で、宮崎県産の果実が数多く存在することを知り、生産者やその果実のPRの一助となればと考え、新たなフレーバーのクラフトコーラづくりに着手しました。そして、試行錯誤の末、珈琲と宮崎県産の日向夏・レモンを配合したクラフトコーラを開発しました。

完成したクラフトコーラはパッションフルーツ・ヘベス・せとかの3種類のフレーバーで、それぞれ持つ香りや酸味などの風味・特性が感じられるものに仕上がっています。また、白砂糖や添加物を使用していないのでお子様からお年寄りまで安心して楽しんでいただける商品となっています。

(レイドバック珈琲 店長 芝 真悟)



スペシャルティコーヒーの専門店「レイドバック珈琲」が県産果実に拘って開発した、珈琲の香ばしさが特徴のクラフトコーラです。当ステーションではフードビジネス商品開発・ブラッシュアップ支援事業、ビジネスマッチング事業で支援しました。

(担当コーディネーター 森 祐一)

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
フードビジネス推進課
(フードビジネス相談ステーション)
電話：0985-89-4452

企業の人材育成に関する支援

中小企業者

企業経営力アップ人材育成支援事業



助成対象

中小企業の経営管理能力や技術力の向上を図るため、県内の中小企業の経営者や従業員の皆様が国内の公私機関で実施される専門的な研修に参加したり、講師を招聘して研修を開催する場合、必要な経費の一部を助成しています。

1 研修等参加事業

企業の従業員等の経営管理能力や技術力の向上を図るため、公的機関やセミナー・研修等を業とする民間企業等が実施する専門的な研修等へ参加する場合

| | |
|--------|-------------------------------|
| 助成対象経費 | 受講料、参加費、負担金、旅費 |
| 助成率 | 1/2以内 ※賛助会員又は成長期待企業(2/3以内) |
| 助成上限額 | 10万円 ※賛助会員(15万円) 成長期待企業(20万円) |

2 ものづくり企業技能等向上研修事業

ものづくり企業の従業員等の技能等の向上を図るため、公的機関や研究機関、大学、セミナー・研修等を業とする民間企業等が実施する専門的な研修等へ参加する場合

| | |
|--------|-------------------------------|
| 助成対象経費 | 受講料、参加費、負担金、旅費 |
| 助成率 | 1/2以内 ※賛助会員又は成長期待企業(2/3以内) |
| 助成上限額 | 10万円 ※賛助会員(15万円) 成長期待企業(20万円) |

3 社内研修・企業間等の連携研修開催事業

生産技術や管理技術等の向上を図るため、専門家等を招聘して、社内研修を開催したり、県内企業間もしくは企業と関係機関との連携による研修等を開催する場合

| | |
|--------|----------------------------------|
| 助成対象経費 | 講師謝金、講師旅費、会場借上料 |
| 助成率 | 1/2以内 ※賛助会員(3/5以内) 成長期待企業(2/3以内) |
| 助成上限額 | 30万円 |

中小企業者

未来成長企業経営力アップ人材育成支援事業



助成対象

宮崎県より選定された未来成長企業が、経営管理能力や技術力の向上を図るため、経営者や従業員の皆様が国内の公私機関で実施される専門的な研修に参加したり、講師を招聘して研修を開催する場合、必要な経費の一部を助成しています。

1 研修等参加事業

企業の従業員等の経営管理能力や技術力の向上を図るため、公的機関やセミナー・研修等を業とする民間企業等が実施する専門的な研修等へ参加する場合

| | |
|--------|----------------|
| 助成対象経費 | 受講料、参加費、負担金、旅費 |
| 助成率 | 2/3以内 |
| 助成上限額 | 15万円 |

2 社内研修・企業間等の連携研修開催事業

生産技術や管理技術等の向上を図るため、専門家等を招聘して、社内研修を開催したり、県内企業間もしくは企業と関係機関との連携による研修等を開催する場合

| | |
|--------|-----------------|
| 助成対象経費 | 講師謝金、講師旅費、会場借上料 |
| 助成率 | 3/5以内 |
| 助成上限額 | 30万円 |

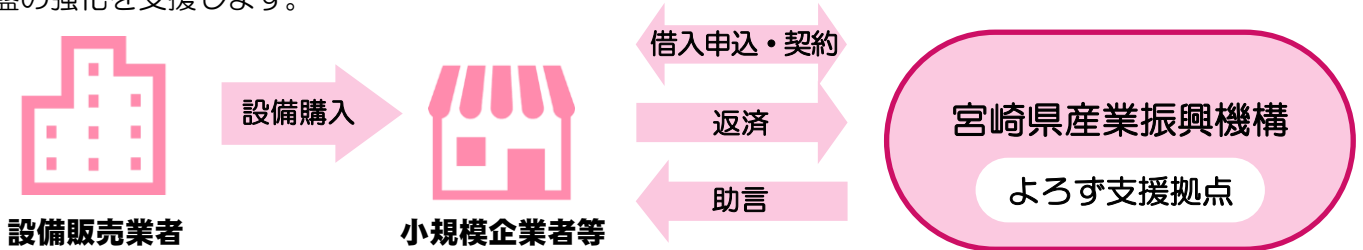
お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構 産業振興課
電話：0985-74-3850

設備導入に関する融資制度「みやざき設備資金貸付事業」

小規模企業者等の皆様が、経営基盤の強化を図るため、必要な設備を購入される場合、その設備導入資金の一部(1/2以内)について無利子で融資を行っています。(貸付審査会による審査があります。)

なお、貸付申請者には、御希望に応じてよろず支援拠点のコーディネーターが随時助言を行いながら、経営基盤の強化を支援します。



| | |
|--------|---|
| 申請対象 | 県内の小規模企業者等（常用従業員数50名以下） |
| 対象経費 | 経営基盤強化のために必要な設備（土地・建物は対象外） |
| 償還期間 | 3年以上7年以内（元金据置は最長6ヶ月、口座振替で毎月決済していただきます。） |
| 貸付額 | 50万円～2,500万円 「フードビジネス」「メディカル」「自動車」「成長期待企業等」で、一定の条件を満たした場合、上限が3,000万円となります。 |
| 問い合わせ先 | 公益財団法人宮崎県産業振興機構 産業振興課 電話：0985-74-3850 |

テゲバジャーロ宮崎ホーム戦での物産展出店のご案内!

宮崎県の中山間地域の産業振興を図るため、宮崎県唯一のJリーグチームであるテゲバジャーロ宮崎のホーム戦において、中山間地域の特産品や中山間地域の魅力を発信するブースを設置しております。

出店をご希望の方はご連絡ください。

| | |
|------|--|
| 開催場所 | ユニリーバスタジアム新富 (児湯郡新富町大字三納代1586) |
| 出店条件 | ・宮崎県の中山間地域に定義される地域の事業者 (ただし、宮崎県産品に限る) |
| 出店料 | 無料 ※電源を使用する際は別途申請が必要(有料) |



▲ホーム戦での出店ブースの様子

お問い合わせ先

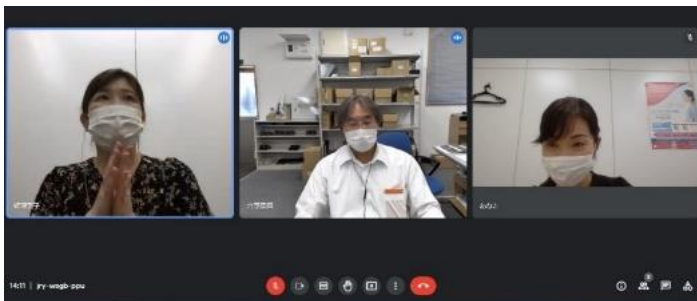
(公財) 宮崎県産業振興機構内
中山間地域産業振興センター 東園 (ひがしその)
電話：0985-74-3850 (電話受付時間：平日 8時30分～17時)
E-mail：t-higashizono@i-port.or.jp

フードビジネス商品開発・EC販路開拓 個別相談会のご案内

個別相談会の参加を希望される方は、事前に以下のアーカイブ版セミナーをご覧ください、基礎知識を身につけていただいた上でご相談に対応いたします。

- **対象者** : 県内の食品関連事業者
- **講師** : 株式会社47CLUB
- **費用** : 無料
- **相談方法** : WEB会議システム「Zoom」を使用したオンラインセミナーです。
インターネット環境とPCやスマホがあれば受講することが可能です。
- **相談事例** : 自社商品の特征にあったネットショップを教えてください。
魅力的な販売ページにするコツを教えてください。
ネット通販をやっているが、思うように売れないので改善点を教えてください。

| | 内容 |
|---|---|
| 1 | ネットショップ市場に自分の商品を流通させるには ネットショップ自社運営のための心構え |
| 2 | ネットショップ運営というビジネスの真の姿！ ネットショップ運営成功の方程式 |
| 3 | ネットショップ方程式3要素 ページ作成基礎知識① ページ作成基礎知識② |
| 4 | ネットショップ方程式3要素 集客アクション基礎知識 単価アップ施策基礎知識 |
| 5 | ネットショップで売る商品開発の考え方 ネットショップで売るための写真講座 |



▲昨年度のWEB個別相談の様子

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
みやざきフードビジネス
相談ステーション
電話：0985-89-4452
担当：勢井
E-mail：food@i-port.or.jp

みやざきビジネス応援プラザ入居者募集中!!

県内で、新たに起業をされる方や新しい事業分野への進出を目指す方等の支援を目的に事務所スペースを低廉な価格で提供します。

詳細はホームページをご覧ください。お問い合わせください。

(http://www.i-port.or.jp/jigyoku/23_office.html)



▲502号室
月額利用料金 25,200円



▲503号室
月額利用料金 39,500円



▲507号室
月額利用料金 32,000円



| | |
|--------|--|
| 対象者 | <ul style="list-style-type: none"> ・創業5年以内の県内事業者、県内で起業を予定している方（新分野において創業を予定している既存事業者を含む。） ・宮崎市に拠点を持たない県内事業者であって、宮崎市での事業展開のための事務所を必要とする方 ・本県への誘致企業として立地調印を締結した企業であり、臨時的に事務所を必要とする方など |
| 利用条件等 | <ul style="list-style-type: none"> ・原則3年以内。以後1年ごとの更新で最長10年まで ・入居者専用駐車場はありません。など |
| 施設概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・所在地 〒880-0013 宮崎市松橋2丁目4番地31号 宮崎県中小企業会館5階 ・設備 デスク、椅子、電源設備、高速インターネット回線、電話回線、固定電話機 ・共用設備 会議室、男女トイレ、電気照明、空調設備、専用郵便受け、来客者用駐車場 ・その他 24時間利用可能（入退室カード管理システム完備）、施設内禁煙 |
| 問い合わせ先 | 公益財団法人宮崎県産業振興機構 経営情報課 電話：0985-74-3850 E-mail：info-21@i-port.or.jp |

▼みやざきビジネス応援プラザ入居者様を紹介します！



501号室
株式会社PURPOSE
代表取締役
山野 美和

PURPOSE（パーパス）は「集客をサポートする」宮崎のWEB制作会社です。「幸せは人を介して広がる」をコンセプトとして、WEBに関する様々なサービスをご提供することで、人と人とを繋いでいきます。

[自社] <https://qpurpose.com/>
[通販サイト] <https://fukunowa.qpurpose.com/>



504号室
フォトリア
代表
齋藤 太記実

一般写真撮影や写真教室も行っていますが、今年から主に宮崎の特産物を取り扱うECサイト事業に参入します。商品の写真撮影や説明文も請け負うECサイトです。どうぞ、よろしくお願いいたします。

<https://www.photo-miyazaki.com/>



505号室
メンタルヘルスマネジメント宮崎
CLEAR
代表
赤松 照美

2022年6月20日に開業しました。すべての人の尊厳と人格を尊重し、働く人と働く人を大切に育て支えている組織に、誠実さをもって寄り添い、支援する。ことを経営理念とし、働く人のこころと組織に寄り添い続けることを目指しています。

<https://clear-miyazaki.com/>



506号室
宮崎リワード 株式会社
代表取締役
福島 大地
(Taichi Fukushima)

Instagramで“ミヤザキジャーニー”と検索してみてください！宮崎県内のお店やスポットをたくさん紹介しています。必ず、宮崎でのあるもの探しのキッカケになるはず。また、私たちはSNS運用のプロですので、SNSを活用したマーケティングに少しでもご興味ございましたらご連絡ください！

“宮崎へ、時代に合ったマーケティングを”
“SNSで宮崎県をぶち上げる”
<https://reward.Miyazaki.jp/>



508号室
株式会社 Milk Lab.
代表取締役
山中 草英

宮崎でしか製造されていない「麹菌発酵乳飲料（ミルクあまざけ）」は人々の美容と健康寿命を延伸する機能性乳飲料です。フードロス、プラスチックごみ問題の解決へも取り組み、日本を世界を美しく元気にします。
<https://milklab.co.jp/>

下請取引や価格交渉に関する相談窓口

1 下請取引に関する相談

支払日を過ぎても親事業者が支払代金を支払ってくれないなど企業間の下請取引のトラブルに関して無料の相談窓口を開設し、企業間取引や下請取引に詳しい専門の相談員や弁護士が相談の対応を行っています。

相談の事例

- 発注元が、支払日を過ぎても、代金を支払ってくれない。
- 長年取引をしていた発注元が、突然取引を停止した。
- 発注元が「お客さんがキャンセルしたので必要がなくなった。」と言って、納品した部品を返品してきた。
- 取引先から、自社の営業秘密として管理しているノウハウの提供を求められた。

2 価格交渉に関する相談

中小企業が取引先と価格交渉を行う際のノウハウについて、個別の相談指導を行っています。


相談の事例

- 取引先が単価の引下げを求めてきたが、取引先は合理的な説明をしてくれない。
- 短納期で仕事を行ったが、取引先は従来と同じ単価でしか支払ってくれない。
- 原材料の価格が高騰しているが、取引先が単価の見直しをしてくれない。
- 鋳造用の木型を長期保管しているが、取引先が保管料を支払ってくれない。


(受付時間)

平日 **9:00~17:00**

下請取引に関する相談

 (下請かけこみ寺)
0120-418-618

価格交渉に関する相談

 (価格交渉サポート相談室)
0120-735-888

お手伝いします! 中山間地域の産業振興の活動!

中山間地域産業振興センター コーディネーター 東園 剛

中山間地域において、産業振興に取り組む方々に対し、商品開発・販路開拓等の支援を行っています。関係機関と連携のもと、ワンストップで、きめ細やかに対応します。

こんなことに取り組んでいます

1. 農林水産物などを利用した加工品販売、販路開拓・拡大への支援
2. 地域資源の利活用について、流通の実態把握&新商品開発の支援
3. 古民家等を活用し、地元産業や伝統芸能等と連携した新たな宿泊プラン等の支援
4. 参加者のニーズに沿った内容をテーマとしたセミナーや個別相談会の開催
5. 地域資源を生かしたマーケティングに基づくビジネスモデルなどについての支援
6. 在籍する専門のコーディネーターが、県や市町村、商工会議所、商工会などを繋いで、きめ細やかに支援



▲テグバジャー口宮崎ホーム戦での出店ブースの様子

相談電話 0985-74-3850

相談受付 月~金 8:30~17:00

宮崎県よろず支援拠点へどうぞ!

宮崎県よろず支援拠点は、国（中小企業庁）が設置した無料の経営相談所です。中小企業・小規模事業者の皆さんが抱える様々な経営の悩みに対応します。

電話でのご予約はこちら
受付時間 8:30~17:00 (平日)

☎ 0985-74-0786

創業や起業する際の
資金調達について知りたい

電子決済や
ウェブサイトを活用した
販売戦略について
知りたい

取引先との契約書の
内容や事業に関する
法律について相談したい

確定申告や年末調整、
節税の相談をしたい

営業パンフレットを
刷新して企業イメージを
印象づけたい

親族ではない人に
事業を引き継ぎたい



宮崎県よろず支援拠点の活動紹介

インボイスセミナーの開催

2023年（令和5年）10月1日から開始されるインボイス制度（消費税の適格請求書等保存方式）についてのセミナー講師として、よろず支援拠点のコーディネーターを派遣します（無料）。詳細はお問い合わせください。

みやざき女性起業家育成プロジェクト

事業プランの「実行」「拡大」に注力した、新しい形の女性起業家を支援する事業で、現在、一次審査（書類審査）を通過した10名が、よろず支援拠点コーディネーター、産業振興機構とともに、最後のブラッシュアップを行っています。

プレゼンテーション形式の最終審査会は、令和4年11月12日（土）ATOMica宮崎で開催予定です。詳細は、改めてよろず支援拠点Facebookなどでお知らせしますので、ぜひご覧ください。

宮崎銀行 & 宮崎県よろず支援拠点

インボイス制度と電子帳簿保存法

~どうする? インボイス制度と電帳法 今からできる準備と対策~

日程 2022年 7月28日 (木)

時間 14:00~15:00

会場 MRTmic エムラドビル
(住所: 宮崎県延岡市延岡4丁目8番2号)

講師 河野 宝 コーディネーター

定員 30名

参加無料

【講師紹介】
● 宮崎県よろず支援拠点コーディネーター
● 税理士

経営支援、創業支援、法人成り支援、資金援助(融資等)など事業開始に寄り添った支援が可能な方

セミナー内容
インボイス制度のポイントと今後の対応
電子帳簿保存法の概要

お申し込み方法: ①本申込申込書に必要事項をご記入の上、お近くの支店へお持ちください。
②みやざきBizAdvance会員の方はトップページのQRコードよりお申し込みください。



中小企業庁
よろず 宮崎県よろず支援拠点

成果が出るまで
徹底的にサポートします!

お気軽にご相談下さい! 事前予約制 相談無料

よろず支援拠点ホームページでは、セミナーの開催やFacebookでの情報発信を行っています。
ホームページから相談予約もできます。ぜひご覧ください。

みやざきフードビジネス相談ステーションへどうぞ!

6次化サポートセンター統合により さらに **パワーアップ**

令和3年度まで（公社）宮崎県農業振興公社に設置されていた6次産業化サポートセンターの機能及びみやざきLFP（ローカルフードプロジェクト）事務局が令和4年4月より当ステーションに統合されました。それに伴いスタッフ3名が加わり、当ステーションもさらにパワーアップしました！農林漁業者や関連する様々な事業者の皆様は今まで以上にステーションをご活用いただきたいと思っています。

6次産業化サポート事業は、今年度から「農山漁村発イノベーションサポート事業」として生まれ変わり、対象事業者の範囲も広がりました。さらにLFP事業では、食を中心に様々な事業者が連携の展開によって新しい商品やサービスを生み出します。詳細は裏面をご覧ください。



みやざきフードビジネス相談ステーション2022年度の体制について

今年度は、常勤コーディネーター4名に、農山漁村発イノベーションサポート（6次産業化）及びLFPの対応を行う専門員2名が加りました。「食と農」の連携をより強力にサポートできる体制が整ってきました。昨年度に引き続きZoomを活用したWEB面談も実施しておりますのでお気軽にお問い合わせください。

「トータルコーディネーターによる販路開拓サポート事業」及び「食品表示法等アドバイザー派遣事業」は令和3年度で終了しましたが、ビジネスマッチングに関する相談は引き続き当ステーションで受け付けており、食品表示相談は毎月第3木曜日を実施しておりますのでどうぞご利用ください。

コーディネーター等（6名）



高峰 由美
事業計画・商品開発・海外展開



藤敷 志保
商品開発・レシピ開発



陣訪園 哲哉
商品開発・経営管理・品質管理
（中小企業診断士）



森 祐一
商品開発・販路開拓



武内 和俊
農山漁村発
イノベーションサポート
（6次産業化）・農業



新名 英治郎
LFP・農山漁村発
イノベーションサポート
（6次産業化）

より専門性の高い
アドバイザーも
登録しております。



公益財団法人 宮崎県産業振興機構

みやざきフードビジネス相談ステーション

TEL 0985-89-4452 FAX 0985-89-4468

相談対応時間 月曜日～金曜日(9:00-17:00/12:00-13:00及び祝日は除く)

✉ food@i-port.or.jp

〒880-0811 宮崎市錦町1-10 宮崎グリーンズフィア壱番館(KITENビル)3F
（お越しの際は、最寄りの有料駐車場または公共交通機関をご利用ください）

農山漁村発イノベーションサポートセンター
みやざきLFP事務局

